

屋良朝苗日誌

1 屋良朝苗日誌について

屋良朝苗日誌（以下「日誌」という。）とは、米国統治時代の琉球政府で初の公選主席、本土復帰後の沖縄県で初代の沖縄県知事を務めた屋良朝苗氏が、一九五三年（昭和二八）一月から一九八五年（昭和六〇）一〇月までの三十年余りにわたって書きつづった一二五冊の日誌とメモ帖類である。

日誌の原本は屋良氏の遺族により読谷村に寄贈され、沖縄県公文書館は原本から複製を作成して所蔵している。

2 日誌の公開及び翻刻の利用について

（ア） 日誌の公開について

沖縄県公文書館では、手書きの文章を読みやすくするために、テキストデータ化する翻刻作業を進めている。本稿はその成果の一部である。

日誌は、沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例第十一条の規定により、個人の秘密の保持その他合理的な理由により利用に供することが適当でないと判断される情報については黒塗り処理を行っている。

（イ） 翻刻の利用について

日誌の一部を出版物等に掲載しようとする者は、沖縄県公文書館管理規則第九条（出版物等への掲載）の規定により、あらかじめ「出版物等掲載許可申請書」を沖縄県公文書館指定管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

翻刻に誤りが見つかった場合には、都度、改訂するものとする。その際には改訂箇所及び改訂日が分かるようにする。

3 凡例

（ア） 文体・語句・送り仮名について

- 語句は基本的に原文のとおりに表記した。
- 誤りと思われる語句は後ろに「ママ」と付した。

昭和四四年

三月廿四日(月)晴

朝出勤、決裁をすませて出かける、
宜野湾市訪問 大分時間おくれる
一〇〇名近く集って居られた ■■

■■■■は浦添へ行く、何れも沢山集つて居られた 次は北谷、こちらは代表幹部だけ、市長室でランを飾って迎えて下さった 次は嘉手納 北谷と共にやはり基地に因む深刻な問題をかかえている 訴えも大変参考になった 何とか力にならねばならない、こちらでベントウを食べ読谷へ、郷里入り、しかしゆつくり話す自由なし、川平 長浜を通って石川へ、こつちも集り多し 次は美里、ここも盛会 7 時頃終り、引続き千尋で中部市村長会夕食会 早目においとまして東急ホテルで大浜先生と懇談する

三月廿五日(火)晴

いろ／＼ごた／＼して出発おくれる 出発前から気分悪し 北中城へ四〇分もおくれていく 親近感で迎えて呉れたが村長から政府の■■■の渋滞ぶりは 彼の十三年の経験からはじめてであると指摘されショックを受けた

ここでも二〇分喰い込み、勝連おくれる ここは自民の地盤でしかもがり／＼の地域との事 陳情要項も大変多く 時間かかる 与那城に行つた時は更におくれる 沢山集っている代表の方々に迷惑をかける 陳情が多く而もかめつく「がめつく」気持ちの悪い発言もあった 勝連 与那城

は私の負けたところ、好意は感取出来なかった 晝食もとれず具志川に強行 これも集り多し、後で御祭りさわぎだと発言もあったとか

次はコザへ。大山市長自ら迎えて下さる 短時間に説明を聞く、商工会からはむつかしい質問も出て来たが後まわし、市長の案内で子供の国 総合グラウンド敷地見学終って当間さんの古稀の御祝いに出席 祝辞、引続き七時から■■■■使レセプション 家内同伴する 今日朝刊 夕刊に法案のおくれたたかれ頭かかえる

三月廿六日(水)晴

朝、宮城、砂川局長と話す 中村局長 垣花部長 ■■案提出の件で話す

三十分程おくれて恩納へ 村長はじめ各代表沢山出迎え沢山集り 気持ち良く話し合ってもらった 次は名ゴへ。ここは代表数名、同志という所で和気あいあい、話を早目に切りあげて工業高校、産技学校の敷地視察 次はギノ座へ。車の中で晝食をとる こも純朴で沢山集って真面目な会合だった 金武もその通り、私が与野党の別なく同じ気持ちで話したのだから彼等も敵意をもつはずはない 私のあいさつも したがって大変筋の通ったものになったと思う 6 時前に政府に帰る 6 時から経済懇談会のレセプションに出席し 本土代表にも会い 与興「余興」も見て帰る。

三月廿七日(木)晴

十時から経済懇の大会へ出席し祝

辞をのべ、晝まで出席す、本土からの講師の話はつまらなかった 参考になる何物もなかった。

一時から局長会議。記者会見

三月廿八日(金)晴

今日は 屋部、本部、上本部 今帰仁とまわる 何れも集りも多く 真面目に話し合いが出来たと思う、特に上本部の電気の訴えは強いものがあった 是非実現してやらねばならない 今日も局長会が五時からあるというので急いで帰ったが間に合わなかった

七時から那ハ亭へ島根県知事の招宴に出席した、早目に失礼する

三月廿九日(土)晴

羽地、に十時につく ここも集り良い、直ちに国頭に急行す

集りよし、ここも無事に終る

今帰仁には半島道路の早期実現国頭は一周道路の早い実現を決意す

国頭から大宜味へ、車の中で晝食をとる、大宜味はここはまた同志の集い。あばら骨の汁をつくって晝食も御馳走になった。そして津嘉山のみかん造園も遠望して意を強くした 一路ナハへ途中 車故障する 中村局長の車で帰る

七時から高等ベンム官の招待、沖縄側 星、平■、瀬長夫妻、高瀬大使、向うは 民政官、ショット夫妻、石川市長夫妻、話し合い 夕食会、映画会等あった ちぐはぐの気持で一応、感謝しつゝ終る

土用三十申(申)晴

帰りは松川に寄り十一時まで遊んで帰る 一彦も具志一家もしばらく話す 一彦等を送られて帰る

三月卅日(日)晴

午前中は内で

一時から新島料理学院終了式へ。いつも乍ら盛大、夫婦出席す 正子さんあいさつ、翁長先生あいさつはすばらしかった 余興も見なかったが公舎に 中部婦人教師、大阪教師訪問との事で失礼する 公舎にはすでに来訪。しばらく話す、五時から予算の件で中村、宮城 知念氏と会ぎ。

夕食はうどん屋に行つて食べる 主席のソバ屋入りもどうかと思うが悪くはないだろう 方針は十時頃まで話して決める

三月卅一日(月)晴

十時からアイゼンハウワー元大統領の追悼阅兵式へ。

警さつ、法ム局長と懇談、パトカーの件、少年院脱走事件について。開発公庫の調査に來られた鈴木さん 阿部さんと懇談、大金 中金 総才に会っている／＼聞く。那ハ市訪問

琉大レセプション、楽しかった それが終つて青年商工会ギ所の方々と夕食会ならび講演、どんな感じを与えたか、

主用卅十

「中略」

四月二日(水)晴

今日 沖縄本島市町村まわり 最後の日程、はじめに、九時頃 出発して東村に、ここもよく集ってまじめな会合だった 特に土地改良、道路の件 東海岸一周線の舗装等大事な事だった 何はさておいても一周線は早目に完成しなければならぬ また難視聴地域の解消も要急。

次にヤガジ ここも熱心な集りだった、最後に久志、ここではバスの回数が減って、子供等の通学に大変不都合が出来ているとの事等 これで沖縄本島終り、大変参考になった続いてコザのおとひめで革新市町村長、助役との定例会に出席、九時頃まで歓談して帰る。一彦ちゃん今日から保育園に行ったとの事。喜んでいたとの事で安心する

四月三日(木)晴

今日は朝から局長会議、午前后ともに物品税の件、自動車保険税の件、切手代の値上げの件等極めてむづかしい問題に頭をいためる 夕方は六時から九時頃まで与党との連絡会 ここでも経済開発研究所をめぐってむづかしい問題があった。政治という事のむづかしさ しみぐとこたえる
四月四日(金)雨
去年の今日は主席公選立候補の決意を表明した日、感謝し、苦しい日が一年以上続いたというものだ

四月四日(金)雨

八時四十五分 民政官に会う 三

〇〇万弗 融通してくれる結論は出た。しかしその使い方にはいろ／＼条件があつてそれは宙吊り宮城局長と計画局長との間に話し合いの事、さらに不健全予算に対してと減税や給与の値上げ等に意見があつたそれに対して私も意見をのべておいた。

大阪教職員来訪、記者会見 O H K 放送録音 三時半 見学す 社会党 宮良委員長 岸本氏等外三名、観桜会出席せぬよう申し出あり、また悩む問題が一つ出て来た 夜、安里、大山幸市 知花氏 喜屋武、福地、茂治氏等に電話で聞き合わせた

皆、行ったが良いとの事であつた 亀甲、仲吉氏には同様にこれも行ったが良いとの事だった由

四月五日(土)曇

床次長官来県 迎える、記者会見に立ち合う

引続き表敬あいさつに見える
午後二時半から三時まで各局長との話し合いあり

その中で安保との関連で復帰問題を解決すると云う表限「表現」や一体化の云い■が問題をかます、また一体化の五カ年計画もうっかり、私がもらったとの発言でこれも後に問題を残す事になると憂うる これは失敗したと思う、後の祭りである。

五時半から長官のレセプション 沢山集って居た 七時から行政府招宴 夕食会あり 八時半帰宅する 家内、本部から未だ帰らない 十時頃から

休む

そのままねてしまう

四月六日(日) 晴

八時半 沖大教授方十名程来訪
大学の紛争問題について力をかけて
もらう様 要請あり、九時過ぎ 長官
の御供をすべく出発 九時二十分に
OHKで落ち合い 出発、長官と同乗
し、昨日の話について話す、一体化
政策について基地反対について 安
保反対について 私共の立場を十分
話す よく了解されたと思う 護国
神社参拝して帰宅する 晝は知念副
主席に内外情勢懇談会に出席しても
らう 晝食をすまし二時から新年度
の予算の件で会議、於 主席室

四月七日(月) 晴

八時半 登庁 局長に集ってもら
って上京についての意見を聞く
高山元京都市長 当間先生の案内
で見える 表敬あいさつ

山高しげる参議員 来訪

三時から床次長官 テレビ座談会
私の発言さえず。床次長官は自信をも
って云っている 新政権には不利だ。
五時に出発、その前に補正予算決裁
する。五時半 記者インタビュー、
空港には局長方並び御夫人方見送ら
る

一時間五〇分で羽田着、記者インタ
ービュー、変った事なし

グランドホテルで平良夫妻としば
らく話し方々に電話あいさつ。

四月八日(火) 晴

九時に吉田氏来訪 慰霊塔に水を
捧ぐる運動の稀篤者紹介。

南援訪問表敬、淵上先生表敬 特連
局、総ム長官、両副長官訪問表敬 何
れも不在、

十一時 石井衆院議長、小平副ギ長
訪問 復帰、国政参加、米貸与を中心
として話す 予算落込みについても
ふれる。続いて参院 重宗議長 安井
副議長 同様訪問 総理府で記者イ
ンタービュー

晝食休憩。それから三時前に公明党
竹入委員長 大田国対委員訪問 続
いて共産党ひかえ室訪問 各約二十
分程話す、表敬をかねる

四時 特連局長訪問 宮里忍氏の
依頼の件も話しておく、見込なし四時
半から愛知外相訪問 約四十分程話
した B52については強く要請し
たが大変困なんな問題だと。しかし引
続き交渉はすると云う丈の答しか得
られなかった、六、七月撤去の事 何
ら得るものなし

那ハに帰ってから窮する事になる。
おりえさん、一夫ちゃん さとみちゃ
ん来訪 前橋のマンジューを土産に。
二人共元気で肥って可愛い 夕食
を共にする。高嶺夫人、金城芳子さん、
宮城初子、広田芳さん来訪 夕食を共
にして懇談、九時頃帰る 楽しかっ
た 澄夫一家も十時頃帰る 帰任を
一日のばす事にする

四月九日(水) 晴 夕方雨

観桜会、九時二十分出发、行って見

れば大した事なし、御苑で美濃部東京都知事に会ってしばらく御話する、星さん外瀬長君外 私、池原、平良氏一行一緒

いろ／＼の御人に会う 佐藤総理夫妻にも御目にかかる 木村副長官保利長官各夫婦にも御目にかかる、高松宮御夫妻にもあいさつする

高瀬大使 岸所長方、ランパードさん夫妻、カーペンター夫妻にも会う御苑を今日の様な催しに見ては心から楽しむ気にはならず いかにも空しく、そして形式的御義理的 時間の浪費である 心から楽しめる御苑の散策を思い出す、自由の楽しい散歩がなつかしい こんなでは只に空しきのみ。

十一時二十分で打ち切り、自民党田中幹事長 二階堂副幹事長 臼井先生外三名に会う 三十分程で終る次は民社党 西村委員長 書記長(佐々木) 門司先生 外三名

次は文部大臣、池原学長と一緒に会う、次は社会党の成田委員長、書記長、川崎さん、外四名の幹部に会う 国政参加についてくわしく話し合った

次は記者(タイムス、琉球)会見する、公式日程終り六時半から大浜先生御宅へ招待、奥様はやせて居られる、ストレスがわざわいしているとの事、正子さんも同じ様な事ではないかと思う やはり胸がどき／＼すると云われる 私にもその様な事はある、しかし 私は余程強いかも知れない 今日で各政党は皆終る。

この度の状況も大きな仕事になっ

たと思う。

四月十日(木)晴

十時に長谷川農林大臣 食糧庁長官に御目にかかる 米の問題についてある協力要請に對し了承さる

食糧庁長官に名詞「名刺」をあげなかつた事はまづかつた

帰りに進藤聖太郎氏を国家公員連本部に訪ね表敬する 十一時十五分 厚生大臣 医務局長に会い福岡での一件御詫び申しあげる、十二時半総ム長官鯨岡副長官、山野局長に会う、主として国政参加について話す。

今朝 森戸夫人来訪さる 中野夫人も来訪さる 午后 東京事ム所文京図書訪問 引続き うずら荘訪問する。若■さん 横尾夫人 外数人の顔なじみの方々に迎え送らる、なつかしかつた 御茶の招待にあずかつた。六時から県民大会 励す会幹部の夕食会に出席 青年会館に於てであつた

話しは政治問題にふれ過ぎたきらいがあつてまづかつた 要注意

四月十一日(金)晴

午前四時半 平良辰雄氏逝去さるとの事、残念の事である 悲しい事である 生前の功績 その御恩顧に感謝、痛恨にたえない 復帰の先覚者として大きい存在であつた

私個人として励す会会長として大変御世話になつた方、その先生に私は御報いする事が出来なかつた、直接御本人に御見舞すら出来ない内に他界

された 残念でたまらない 申し訳がない。今となつては取返しがつかない もっと真実であれば よかったのだ 反省の要あり。つつしんで御冥福を祈るのみ。朝夫君に電話する。十時 国会内で国会運委長の久野氏に会う 国政参加の今日までの経過がよく分つて参考になった

来週から作業にかかると表明する 十一時から木村副長官に会う B5 2 についての見通しは今も変らぬと云うか 晝は南援の晝食会 プリンホテルであり、二時頃まで懇談す 観桜会に出席者夫妻 星氏欠、大浜先生 淵上先生、総理府両副長官、吉田氏等であつた

三時から共同通信松尾氏訪問 高橋、横田氏にも会う 松尾氏の話 を聞いて大変参考になった

総評事ム局長 外一人来訪 不快 そうな顔に見えた 私が訪ねないからだと思う、中野好夫先生に御目にかかる あくの全然ないよい方だ 原水協の連中に不用意に会う この連中はあくまでもこちらを利用しようとする者等である

五時半から文教商事の徳里 端山君に案内 ヒルトンホテルで夕食会あり この時ばかりは楽しい一時である 東京の全日程終る

宿に帰つて平良さん弔辞を書く、午 前二時頃までかかる

四月十二日(土) 晴

八時出発 羽田には立石さんも見えて居た 日航の特別室に案内 し

ばらく休み、やがて皆さんの御世話になり出発する

ヒ行機でインタービューの準備をする 定刻に着く、副主席以下各局長 出迎えて下さる 記者インタービュー 中村局長に案内 平良さんの霊前にお焼香に行く。一旦内に帰って夫婦着がえ 二時に火葬場へ

御骨拾いに行く。最早 平良さんに御目にかかれなと思うと非常に淋しい気持になる 三時から告別式が大典寺にあつた、弔辞が届かずあせる 弔辞は文字不明のが多く急いだせいもあるが実に何から何まで拙い 琉政のスタイルはたしかにスマートではないようだ

五時で帰る、焼香は五時半まで続く、夜は具志一家、朝夫君来訪、マッサージを頼む よくねた

四月十三日(日) 晴

砂川君から電話 今日夜 万国博の事ム局 次長課長の観迎懇談会の連絡あり、砂川夫婦来訪あり 一時から社大党大会があり それに出席する為に出かけたが中村総ム局長の連絡により出席するに及ばずとの事で出席中止する四時まで一応内に帰り 休み

また出かける 万国博事務次長と広報課長歓迎会あり、那ハ料亭であつた 終つて九時頃帰る

四月十四日(月) 晴

十時まで知念副主席より出張中の報告、宮城局長より補正予算案について

て説明を受ける

十時から万国博沖縄県推進協議会
発会式に出席 あいさつ。

晝は内に帰り晝食をとり 一時半
からタイムの記者に会う 勸業銀行
の件で関係者に会う。明日 補正予算
の総括説明に参考人として私が呼ば
れている 副主席 総ム局長 宮城
氏等とも打合せる 知花議員、崎浜議
員 仲松議員 吉田議員等打合わせ
に見える。心配をかけてすまぬ

夕方、共済会理事会と懇談会後 文
教図書 当銘会長 仲村専務等を交
えて夕食会あり

荷物が胸にかかえての御馳走であ
って見れば美味も半減する

九時散会 内へ帰って補正予算説
明書を勉強する。

四月十五日(火)晴

身体重症者関係者の陳情を受ける
県労協の陳情を受ける、二時から補正
予算の説明に登院する。十九日には質
問がある、その勉強をはじめねばな
らない。局長会議あり。給与問題、悩
みあり。予算不足をどう乗り切るか。
夜おそくまで勉強

四月十六日(水)晴

与世里盛春氏 正子さん同道来訪、
農業団体陳情団 経済研究所長外二
人来訪 復帰研 安里会長来訪記者
インタビュー

共闘会議との懇談会あり
夜おそくまで勉強 宮里松正氏 宮
古平良氏と同道 来訪する。

五時半から共闘会議 幹部との話
し合いあり 毎月 定例日を十六日
とする

四月十七日(木)晴

局長会議あり。知花氏 安里氏を御
呼びしお話し合います よい知エ浮ば
ず 晝は三井銀行の方、琉銀の方三名
(上地さん、宮古製糖の真喜屋氏外一
人)に晝食会 春駒に呼ばれる

私と副主席 仲村局長 砂川局長
であった 二時半から与党連絡会あ
り。六時頃まで。

四月十八日(木)晴

午前中に政府、校長会その他多くの
陳情あり。午後は内へ帰る 公舎にこ
もり勉強する

夜、八時頃から宮城局長 知念副主
席との話し合いあり。本土米を炊いて
三名で試食会あり。米はおいしかった
資料もいろ／＼そろって勉強の準備
万端ととのう。

四月十九日(土)晴

糸洲君に説明を聞く、十時から議会議
出席する はじめての経験だが昨夜
も実によくねた 今日元気でのだ
む はじめは太田さん、一時間以上
私の姿勢と仕事の矛盾があるとして
ついて来た。仲々「中々」答えにくい
事もある。次は桑江議員 これは基地
を容認、一体化を承認させようとする
誘導尋問ばかりであった 放射能汚
染追及。十二時過ぎに午前は終り、屋
宜君 大島君 大城君一緒に八汐荘
で晝食会あり 正子さん仕事の為に

室屋をかり八汐荘に居た 順子ちゃん 桃子ちゃん一緒に来ていた 正子さん 皆と一緒に食事をとらるしばらく休み、二時からまた参考人として出席、今日は延々として夜までかかるだろう。

午後は盛島、大城議員の質問あり午後からやはりつかれをおぼえた

四時頃からは与党、知花、瀬長 仲松、崎浜、岸本、吉田諸議員 援護質問あり、八時頃終る 先ず先ずという所、具志一家が遊びに来ていた、正子さん、看ゴ婦さんを連れて来訪さる 十一時頃からアンマ依頼する

四月廿日(日) 晴

十時 出勤、池原学長 瀬長さん来訪、副主席 総ム局長 企画局長、里君と一緒に 予算話し合いあり 六時頃帰る 夜は松川で朝夫君 送別夕食会あり 六時に帰宅し、家内と一緒に喜久里氏夫人逝去さるとの事で悔みに行く、未だ帰られなかった 一彦を訪ねて見る 朝樹熱発していた。古波倉さんに電話し依頼し診てもらう、十時過ぎまで話して帰る 城間さんの明君来訪していた

四月廿一日(月) 晴

八時半から十時十分頃まで高等ベム官と会見する、民政官も一緒に快ニウス「ニュース」 二つ 放射能汚染について本土政府の協力了解取つけた 公文手交さる あと一つ是那ハの新港埋立ての為の琉銀よりの融資、五〇〇万弗 OK

あとはベム官からアメリカへ予算獲得証言の為に行く、今後の沖縄の予算の健全化に関心をもち努力するかとの事に私が責任をもつて対処すると答えた後は私の質問、要請 四種 ヲ用者の件、B52 撤去の件

BONb 制廃止の件、ナハ市へ琉銀融資の件等

ベム官は今日出発 見送り度いと思つたが辞退された

帰ってから記者会見

私立保育園経営者からの陳情、平川先生来訪 琉大より陳情あり 晝食は公舎に帰つてすます。午後は芳沢原水協宮古原水協からの要請や抗議があつた これは又頭痛の種子となる。大宜味村長の紹介で中島氏来訪、沖縄の農業問題について説明を聞く。六時からタイムス社長はじめヘン集局中心の方々と懇談夕食会あり 総ム企画主税おそくまで議会に参考人として呼ばれる 御苦労様である。

四月廿二日(火) 晴

今日は午前から予算作製「作成」にあつた しかしどうにもよい知エは生れて来ない 只金が不足、このままでは仕事は出来ない、行き迫る丈である 補正予算より苦境に立つ事となる

官公労の賃上げ斗争もきびしいものがある 決裂するかも知れないそうかと云つて彼等の要求に応ずれば破産あるのみである。決裂も止むを得ないものがある こうなれば刻々

政府もピンチに追い込まれていく
自体の中からの破滅というものである、これも弁証法的必然の成り行きかも知れない 私に難局打開の力もなく運もなければ野たれ死にして行く以外に道はなからう そうした時の沖縄の人心はどうなるか、宮古、八重山行きも時期が適切ではなかった。五時から散髪。六時から私の出版祝賀会大変な盛会だった。家内が出なかった事は失敗、しかし案内は受けていないかも 彼女が遠リヨするのも無理はない、八時頃盛大に終る。朝夫婦具志一家来訪。予算に行きつまって気分がさえない。

四月廿三日(水)晴

朝から予算のやりくり。在室

十二時前に全国各新聞論説委員来県、表敬あいさつに見える、あいさつをかね二十分程話をする、二、三質問を受ける

午後もずっと予算に取り組み 文教、警察 法務、労働、通産 農林、建設 各局長に会って話を聞く、私の手持予算 0 である為に仕事は全くはかどらない

六時から全国論説委員歓迎会が左馬であり出席 四〇分程私に質問あり 八時過帰り 三度予算に取り組む 主席が予算に深更まで取り組んで居るのに翁長農林局長のノーノーとして引あげて怒って帰るとは非常識の話である、知念副主席と仲村局長は官公労との団公で御苦勞をかけている 深更まで御苦勞をわずらわし

ているが妥結にいたらない 一時頃まで大体仕事にけりをつけて帰る、直ぐねる

四月廿四日(木)晴

九時出発 八重山に向う。空港には支庁長、市長 与那国 竹富町長をはじめ多数郡民

出迎える

歓迎式あり 私もあいさつ、直ちに支庁舎に行き公ム員にあいさつ。市町長方との懇談に移る

やはり八重山の特徴があらわれている 晝は観光ホテルで官庁代表、高校代表方と晝食懇談あり、引続き各種団体の代表より要望を受ける その前に明るい沖縄をつくる会長 国吉さん逝去につき(昨日葬式)お焼香に行く。諸団体との話し合いの後 三時頃から島内一周する 数ヶ所で部落民の方方の出迎えを受け二ヶ所では(川平と伊野田)では路傍陳情を受け印象的であった、伊野田辺の大宜味移民部落では大変な出迎えだった 更に白帆「白保」 大浜等も選挙以上の出迎えであった、八時から励す会や市町村支庁長主催の大歓迎祝賀会があった 一千人以上の集りだった 各部落皆余興を出して大変面白かった 竹富町からも出た 久し振りに和やかな催しだった 御好意感謝にたえない その後喜舎場さんの御宅に婦人方、二十名位集るといいうので三十分程出席し皆になつかしく御目にかかると 帰って休むのが一時頃。団交けりついた由

四月廿五日(金) 晴

九時頃から民主団体との懇談、十時から精薄児の施設、老人ホームの施設、病院等視察してヒ行場へ行く、記者会見 宮古に迎う

十時四十五分出發、宮古ヒ行場でも沢山の方々迎えて下さる 歓迎式あり、御礼のあいさつをして、直ちに懇談会場クールへ。各関係者と晝食、一応ホテルへ行く

直ぐ引きかえして、クールで各種団体と懇談、その次は教職員会 労働各団体 民主団体と懇談する。六時から平良小学校での私の主席就任祝賀大会あり三千人位の集りで盛会 感謝にたえない 与那ハ先生、砂川局長方のあいさつも立派、八時半に終る 引き続きクールで姫百合会の歓迎会、三十名位御集りか、有がたい 引き続き知念高校関係者の歓迎会 十分位顔を出す

御好意感謝にたえない

引き続き共闘会議活動家の会合二〇〇名位か、に出席

これは平良市長選への準備の様だ。終って十一時頃帰り あゆみ出版社長と一時間位懇談し入浴して休む

四月廿六日(土) 晴

九時出發、平良市役所訪問

ここは最低だった。次は下地町ここは革新系であるので皆出て迎え植樹もあった しばらく懇談 次は上野ここも出迎えてくれた

しばらく懇談 次は城辺へ

ここは革新町長だけに一ぱい出迎え、懇談もし、晝食の御馳走になる山羊の料理も御馳走になる。有がたい御もてなしを受け全日程を受け出發す

一応宿により 直ぐヒ行場へ。革新共斗会議幹部の要請を受け記者インタビュー ビュー

沢山の見送りに見送られて出發す

ナハに帰って記者インタビュー。五時から局長会議あり。これは大変おそくまでかかった 一応夕食を内でとり再び出直して一時過ぎまで審議する

四月廿七日(日) 晴

昨夜は二時頃就寝。八時起床 十時から局長会議 十一時半から護国神社例祭参拝、二時半から四時半まで政党との連絡会 そこで予算へん成の主席の基本方針の説明あり

五時から平和通り前から政府まで復帰行進団のパレードに参加、主席室前での小集会にあいさつ。引き続き日本放送記者とのインタビュー。六時から地方職員共済理事長との夕食会に出席、八時頃終って帰る

アンマを呼び、今日は休養し早くねる よく休んだ。

四月廿八日(月) 晴

農林省九州農林局農政部長 高崎謙三氏 九州大学名誉教授農学博士 福島栄一氏 熊本牛深市農業組合長 永田照喜治氏を大宜味村長が案内して見えた 農業開発の件で傾聴すべ

き意見を承る 美栄で晝食をあげて更に話を聞く 参考になった

しかし大変な仕事である。

記者会見、五時半か復帰総決起大会に出席 大変な盛り上りであった。あいさつ、デモ参加

しかし後で分った事だが日本政府事ム所に乱入し国旗をちぎりおろした学生あり、壁に落書きした学生あり、日の丸と米旗を僕のあいさつの時に電々公社の建物の中から焼き落した学生あり困った事である 岸所長にわびを電話で申しあげてはおいだが折角の復帰運動にきずがつくというものだ。

然程疲れもしなかった

「中略」

四月三十日(水)晴

全国玩具関係のメーカーの方々大挙来訪され、巨量の玩具を贈らる、施設の子供等へプレゼント。

二時に田中大使来訪する、ニューヨークタイムスのインタービュー 地元新聞社インタービュー 防犯協陳情、外貨導入審議委員の辞令交付 ライラック合唱団来訪あり、二、三曲合唱の披露があった

六時半 稲嶺先生に来てもらって話し合いする 医療保険には難渋する。今日は夜は予算の検討をする

五月一日(木)晴

予算の勉強、十二時 田中大使見送り。一応内へ帰って晝食、与儀公園の

メーカーに出席、あいさつ。

事ム所に帰り予算検討し、六時から励す会の理事と懇談会あり。夕食をさしあげる。

集り良かった。思い出すだけでも平川さん、宮里栄輝さん、島袋 喜屋武君 中今さん、稲福さん、安里さん、中山さん、佐久川さん、山川さん、源さん 徳田さん、照屋さん 正子さん、長浜さん、大島君、下地ベン護士、島仲さん、那覇市長等大変な御好意であった。九時過ぎまで話して帰らる しばらく婦人部隊残って話して下さる

五月二日(金)晴

玩具を贈って下さった方方との晝食会があった、記者会見あり、夕はハensen病関係 後藤安太郎夫妻の夕食会が香和であった、終って八汐荘で夫人の集り 八重山 高良さんの歓迎会があつて顔を出す、十時頃まで話して帰る

五月三日(土)晴

午前中は在宅、午後は九州大学陸上大会開会式に出席。引続き赤十字大会に出席 夕食を内ですませ 松川に行く 昭ちゃん親子三名、朝樹一家も来訪。久し振りに家庭の雰囲気に入り、半ヶ年振りか泊る事にした 大変落ちついたよい一日だった やはり自宅はよい 千宗室さん来訪 表敬を受ける

五月四日(日)晴

昨夜は自宅に泊り、久し振りにくつ

ろぐ、朝食をすまし、庭の鉢に施肥す
これまた久し振りに入浴 これも気
持がよい。寝室でしばらく■■■■して
休む やはり気持が落つく

十二時 公舎に帰る 一彦、犬のオ
モチヤ、もらいに行くと言ってきかな
いやはりしつかりと意識している

公舎に来て玩具をもらつて有がと
うと云つて帰る 二時から赤ちゃん
コンクールへ、祝辞 副主席夫人と家
内も出席 正子さん方、出席あいさつ
あり 後で社長室で休み、三時過ぎ帰
舎する

それからは琉大経済研究部の経済
開発の基本と展望を読む。かくて三日
連休の二日を過す。一彦 五月人形か
ざる

五月五日(月)晴

十時から主席室で副主席 仲村局
長、宮城局長 里部長 予算につめる。
晝食は大文字のスシ 予算も大体考
えをまとめた。かり入れも大体見当つ
けた。

復帰態勢づくりの機構も大体話し
合った。人事増員の件も話し合った
医療保険の件も方向について話し合
った、明日は警察局長と、山川局長等
と話し合い 経済研究所の喜久川君
と話し合いをする事になった。六時頃
話し合いは終る。

帰舎して大学経済研究会の

五月六日(火)晴

ハワイ、仲嶺さん外来訪 わざ／＼
土産品いただく、主席のネーム入りで

有がたい。神奈川県副知事来訪、一時
半 精神衛生大会三時半まで出席す
夕方七時から左馬で照屋知広氏から
の招待懇談会に出席 十時過ぎに帰
る。天皇の招宴 赤坂御苑、宮内省か
ら案内状届く

五月七日(水)晴

晝、九州四大学から見えて児童検診
団の晝食会に出席(八汐荘) 二時から
中城湾にある稲嶺さんの化木KK落
成式に出席す

四時半 八汐荘でパイン産業の恩
人香川大元教授先生への感謝状贈呈
式に出席 後でレセプション

五時半から新年度予算与党連絡会
議あり、九時頃までかかりや々と終る
大体予算構想もまとまりそう。■■■
仲嶺サンから花送らる

五月八日(木)曇

議会メッセージ 主文を整理す
アメリカ日本部長フィン氏来訪、米
国政府に対す要請書と洋 二通提出
す 品のよい外交家 日本語も上手
記者会見は北谷議会から陳情 晝
は神奈川県副知事晝食会 午後は客
なし。補正予算難行 不安多し
本土記者諸君と夕食会あり、東急ホ
テル。本土記者との話し合いも一ヶ年
振りであろう

五月九日(金)雨

いよ／＼昨日から雨期には入った
らしい 今日も雨。昨日 予算が最後
の煮つめをしたらしい、知念副主席か

ら電話があつた 今朝 宮城局長から報告あり。ケインズ ハワイ陸軍司令官表敬あいさつ、フリッピン在日領事来訪

記者会見、晝は岡田先生 石川先生 晝食会 美栄。

午後、毎日記者、二人、世論調査について話しの為 その時 僕の支持率七七%との事 而も自民党支持者も過半数が支持しているとの事、本社でも驚いているとの事安心す その他 重要世論の結果について話しあり。六時半から工業連合会の新旧会長の歓送会を兼ねての総会あり、夫婦出席、砂川局長、仲村局長 後で副主席が出席、約四十分位のあいさつをかねての話しをする 好評であつた様子である。終つてから松川に行く、朝子ちゃんの命日であつたのでお焼香をあげる

終つて十一時頃帰る 一彦も一緒に和子さんに送つてもらふ

五月十日(土) 晴

九時半からカーペンターと会う

糸洲君も一緒に 其の前に副主席、仲村局長、企画局長と予算送付の討ち「打ち」合せ、本日午前中に予算送付との事、三時に企画局長が記者会見する事になった

カーペンターとは布令税制の廃止の件 油脂納付税 ヒモ付を援助にしない事 供与米の事、ダクボート・軍雇用者の整理の件、その他予算の事等盛沢山の話し合いで二時間半に及ぶ。自動車税、所得税については委員

会をつくつて話し合いをはじめの事になった 十二時に帰り記者会見

晝は教育会館に行つてソバを御馳走になり公衆衛生大会へ出席

三時から家内と知念副主席宅へ法会(父上の三三年忌)に焼香へ上る 一応帰り七時から琉球新報ホール フェスチバンへ敬意を表す

八時頃に帰る

五月十一日(日) 晴

八時過ぎまで休む、午前中は在宅、一時から医師会大会に出席、祝辞、一応帰つて休み 四時から立法院代表国政参加陳情団見送りに行く、順子ちゃん、ハワイに行くとか 餞別するのであつたのに、夕方家内が餞別をもつて行つた、毎日新聞の与論「世論」調査 昨日発表 琉球新報に発表との事

夜おそくまで新聞を見て所見をまとめておそくまでかかる

五月十二日(月) 曇

与党全員来訪、補正予算の件で話し合う、太田幹事長に会つて話す 協力要請す 復帰研 安里氏、大山氏来訪、局長会議あり、日本運輸省 ヒ行場部計画課長 来訪する。局長会議あり、施政方針 原稿の研究する。どうも雑然たる感じ 今日を持ち帰つて明日五時から又検討する事になる、私は内へ持ち帰つて検討し考えの筋道は立てる 夕方 左馬で文教図書夕食会に出席する 八時から十時頃まで懇談する 喜屋武君 宮城局長も一

緒。

社大党本部から宮古応援を依頼されて大弱りする

五月十三日(火) 雨

午前中 大島君とメッセージ調整する 晝は散髪、後で二時から三時正子さん訪問 晝食を御馳走になる。午后与党議員全員との連絡会議あり、補正予算に対する行政の態度表明を各党からせまられる、知念副主席が野党議員団に申し出でその後記者会見する事になっていたので行き違いからそれは出来なかったので仕方がなく 明日 私が談話を発表する事になる。夕方五時頃から局長会議、メッセージのまとめ、前文だけはこの日の「ママ」出来た、私は途中から、ハワイ親善使節団 仲嶺さん一行の招待レセプションがハーバービュークラブにあり、それに出席す、仲嶺氏の顔なじみの人々のみであった。大雨の中を帰る

五月十四日(水) 雨

九時半から宮里建設局長一緒 民政官に会う、ヒ行場の拡張工事についての最後の話し合い 向うも公益事業局長、法務局長 沖縄側からも法務局の係官二人列席で、アメリカの提示された覚え書きが琉球会計法にティシヨクする点について話し合ったしかし法的には両方に解しやくに相違があつて完全合意は得られず さりとして最早時日を延ばせば予算は流れるばかり。

六月末日 ■ 四十五日 ぎり／＼の線にきている それで結局私の政治的決断で決める以外にないと分ったので決意する カーペンターには帰って副主席の意見を聞いて方向を決める事を話し帰る

もう一つの問題 放射能汚染の対策、本土調査団の受け入れについてさらに事前通告要望の件 前者は同意を得られたが後者は同意は得られなかった 宮里君に車の中で決断をつたえ直ちに知念副主席と話し同意を得てカーペンターに伝えしめる記者会見しカーペンターとの会見を話し その後に補正予算の早期成立について談話を発表す その後に与党、公労共闘と三者合同会議あり。その席上 行政府の消極性について痛烈な批判あり そして話し合いの結果 院内与党の劣勢を補うのは大衆の力、三者合同の力しかない その体制をつくり情宣していく外にないと意見一致す 二時頃までに終り、公舎に引きすぐそこに野党の面々大挙して談話に対して抗議に來た。三十分にあつて散々毒ついて帰って行く

それから大急ぎで準備をする 糸洲君大急ぎでやって來た。仲々「中々」気が利いている 他の局長には出来ないところである、四時に出発 政府に寄り、それからヒ行場へ。記者会見ヒ行場工事の覚え書き署名

副主席、宮里局長 糸洲局長 仲村局長等見送りに見える

かくて出発、無事着く、所要時間二時間。この度からは記者も少く、助

かる 警視庁も手をぬく。それでも特別室で数名の記者に会う グランドホテル着く。夜の中に先輩知人に電話あいさつ、前橋にもする

五月十五日(木)曇

八時前に吉田氏来訪 九時に特連局長 九時二十分に大浜先生、その後に淵上先生 参議あいさつ 十時半参議員議長に単独に会う その後で議長副代表 それに議運の理事方十五六名 こちらは立法院 陳情団、ぎ長代表 町村長代表等と一緒に加わる 私も一言要請する。それが終わて丸ビルに育英会 沖繩財「団」訪問、島袋氏不在、比嘉理事長に会う、

一応宿に帰り一時に久野さん 一時半に臼井先生、三時に科学技術庁長官、原子局長に会い 三時半から約二十分 愛知外相、五時から木村副長官、特連局長と一緒に会う

復帰問題、B52、放射能、供与米等の事について話す。有意義であった。六時 アルゼンチン移民大城氏に会う、夕食は外に出て取り度かったが福地君等が来るというので宿でとり待期「待機」す。共同の高橋さん、福地君、仲村君 来訪 十時半頃まで話して帰る。

五月十六日(金)曇

九時に大蔵政ム次官 上村先生に会って米の件依頼、九時四〇分から農林大臣、官房長、食糧庁次長、局長参事官に会って米の件依頼

むしろ私にハッパをかけている位、

総ム長官はよい人だからとの表現があった 押しが足らぬという事か

今日の午前の日程終り 宿に帰り休んで一時二十分 円遊会「園遊会」に出席家内も私も第一装して良かった

戸迷いする事なく会場に入る、東京の真中にもこんなすばらしい林の山があるかと思うと羨しい、紀伊家の土地が寄贈されたとの事、私等には特に名前は分らないが、一人の紳士が案内し、さらに立つ場所も指示してくれた 天皇が話しかけられるはずとの事 森戸夫婦に会う、松園夫婦にも会う、所定の場所に立っていると写真、フラッシュは私にだけ集中した。其の間に知っている大臣にも会った 二時半から天皇一家入場さる

天皇皇后、皇太子、常盤の宮夫婦 高松夫妻、三笠夫妻 総理夫妻 官房長夫妻という順序だった

天皇はにこ／＼して所々で話しかけられた 私の所も特別の点であった 沖繩は暑かろうと声をかけられた 私は、御礼と皇室の繁栄と国運の発展を祈り、沖繩の祖国復帰の一日も早からん事を念願しているとのべた それに対し政フと協力して頑張ってもらいたいとの事であった

皇太子は少年会館の事を訪ねて居られた、辞典は使用されているとの質問等あった

総理にも会った。逆に場を一巡して見ようと思っていると瀬長さんに会い 夫人の所に行つてあいさつして引返す その間に福田大蔵大臣、三宅

正一社会党委員長外 木村さん夫妻
や総ム長官夫妻 総理フ副長官夫妻
等に会う。無事終り土産をもらって帰
る

宿で新垣悠久君に会う

宮川君の宅に焼香に行く、一時間位
奥様の思い出話 経過等を聞く 淋
しかろう 気の毒だ 家内も二人で
行って良かった

夜、松原さん、宮城さん来訪 朝夫
君来訪、松原さんに体をもんでもらっ
た。大変上手だ

五月十七日(土) 晴

今日は戦前の波上祭だ 九時に特
連局長に会う、十時に総ム長官に会う
何れもゆっくり話し合う 何れも復
帰態勢づくりにより有意義であった 長
官の時は弘津副長官、特連局長一緒で
あった 一時間位話したと思う 十
一時、十二時までには再び局長に会って
いろ／＼話す

特に今後の財政立て直しの件では
希望を申し入れ何れ局長が沖縄に見
えて打合せをする事にしてある

十二時に終り 十二時半までホテ
ル十二時半からホテル食堂で大浜先
生招きの昼食会あり、二時頃まで淵上
先生も一緒 懇談する

三時に衆院議長に会う 約三十分
間 国政参加について話し合った

いったいほんとにやる気があるの
かどうかについて疑問を投げる 熱
意の程について疑問があるやの話し
であった

それは佐藤ニクソン会談でやりよ

くなる機会を持った方がよいのでは
ないかとの思惑で不完全なものを強
いて急いで損をする様な事はし度く
ないとの気持のようだ。党首脳にも私
から頼んでくれとの事であったが時
間がなくそれは出来なかった

二時半 朝日の坂中さん来訪。ワシ
ントンに三ヶ月出張との事、呼ばれて
いるとの事であった B52は撤去
しないのではないかとの事、アメリカ
要■の人々の声の中からの様だ。国政
参加は見送るのではないかとの事
やる気がない事、それは自分の党に必
ずしも有利でないとする事や沖縄自
民党から不完全なものならやらない
方がよいとの事を云っているらしい
との事

おりえさん 一夫ちゃ(ん) さと
みちゃん来訪 二人元気でよい 一
夫ちゃんがつちりしている丈夫な子、
二人共可愛い顔している 残念だ
が総ム長官御一行 両副長官 加藤
参事官 特連局長 大浜先生 吉田
さん、御もてなし、皆出席して下さっ
て大変良かった 八時頃帰る 澄夫
君来訪、神山君 岡庭先生来訪
後で親子揃って十二時過ぎまで懇談
す、明日の事があるので休む
これで東京での日程終る。

五月十八日(日) 晴

八時出発、朝食は一夫 さとみ 朝
夫、澄夫 おりえさん皆一緒にする
ヒ行場まで家族同車す。日航の特別室
で待期「待機」そこに横浜から中村
さんが見えて宮古の石敢当の事依頼

され■紙の依頼を受け弱る

十五分おくれて出発、孫等出発まで見送ってくれる、十二時過ぎナハ着く、副主席始め御迎えの方相変らず沢山見える 二十分程記者会見 正子さん 桃子さんも見えて居た 直ぐ内に帰り早速施政方針原文草稿の読みにかかる

何度か読んでいる中によくまとめである事が分った 和子さん来訪。家内は首里母の会に出席、夕方松川に行つて夕食を一緒にする
暇を見て鉢に施肥 十一時前に帰る。

五月十九日(月)雨

九時前に出勤 昨夜はよく寝た
副主席 仲村局長と懇談 報告 建設業界の大勢の陳情を受く 宮城局長とメッセーシの件で話す

伊礼門氏 喜屋武君と訪問、会長と社長からの土産を届けられる

那ハ産業展表彰式

建設業界 大挙陳情

放射能調査団来訪 表敬

五時半から与党連絡会あり

平良市長と平良重信氏 当せん
祝杯をあげる。宮里松正氏と正子さんから祝いの電話あり。

メッセーシは調子が低いというので書き直しとなる。朝日新聞が一日の私の日程を追う

五月廿日(火)雨

第一物産の中田氏来訪、先走った事をいろ／＼云っている 沖大学長

高宮氏経過報告の為来訪、仲々「中々」解決しそうにない メッセーシの書きかえの考えをまとめて見た 六時から放射能調査団夕食 歓迎会が東急であった 拙い御馳走であった少し早目に引あげる

五月廿一日(水)曇

佐世保市議団来訪 総評婦人部二人来訪 表敬 その時 沖縄側から陳情を受ける。メッセーシ前文 大島君がまとめてある 大体良し 放射能調査団晝食会が美栄であった 山川局長の催し。出席しおしゃべりする。県史ヘンサン委員任命式あり。財源獲得期成会発会式あいさつ。

富原守保氏 叙勲祝賀会 夕方 O T A 職員来訪 懇談す。

久しぶりの会合 楽しかった 又期待して居た 十四名来訪 十一時半頃まで懇談する 朝日記者三名来訪、教職員会から多量の記念品が贈られた それはみな選挙に関する事ですばらしい記念品になる よく気を利かしてくれたと思つて感謝する

記念になる写真や記録等まとまつて家宝になるというものだ

退職金も沢山おくられた 有がたい共済会 合せて五万弗になり 貯金しておけば家内の後顧の憂えはない 教職員会の諸君の深い温かい思いやりは肝に銘ずる

今晚は四方八方話して時間がたつのも忘れる位であった 時のたつのを忘れた「ママ」話す機会をもちたいものだ。時々教職員会の諸君とこの

集いをもちたいものだ。――

五月廿二日(木)曇

局長会議 二時→三時 放射能調査団の報告 調査団のあり方に住民は極めて不満と物足りなさを感じている 新聞にそれが出ている

五時過ぎ 出発の見送りに行く
引続き局長会議 八時頃先に帰れとの事であったので帰る

補正予算は結局押しきられた。

五月廿三日(金)晴

クロフォード氏 主席室に来訪
大変なつかしかった。晝、鹿児島副知事一行 美栄で昼食会、夕方 岩谷 K レセプション局長懇談会あり。今日は家内は午前午後二回も会合があった由、彼女の「ママ」忙しい様だ、そう云う集りを好みもしないのに気の毒である

五月廿四日(土)晴

中部振興会、大山さん外一行来訪銀行設立の件で話しあり
NHK 録画 全軍労働部と懇談。
日本テレビ録画、十二時半 池宮社長公舎で争議の経過報告の話しあり。夜
メッセーシの勉強す。宮里悦子さん
島仲さん 上江洲さん方来訪 懇談す

補正予算署名し談話発表する。

五月廿五日(日)晴

朝 大島君 公舎に来てもらい。メ

ッセーシについて話し合う

中今信さん、宮里松正さん 来てもらって主として私の構想を聞いてもらい後で全文を主として四名で検討手を加える。大変有意義であった、来てもらって良かったと思う

晝食も一緒にとり 宮里さんは午後は引きあげ中今さんに見てもらってカナ使い、句答「句読」 訓点等訂正してもらった 有がたい それだけすれば心が落つく 日曜であって良かった 幸先良ろし、主席本人がこれ程手を入れ、基本構想を織り込むメッセーシは恐らくこれがはじめてであろう。

進君一家 五時頃来訪、検察庁に戻り度いとの事

六時から竹富島の芸能大会に夫婦で敬意を表す 七時過ぎからナハ料亭でクロフォード夫婦と次男の歓迎会に出席、当方の集りも良く和気あい／＼の会合だった。

五月廿六日(月)曇

今日はメッセーシ前日で来客は加減した様だ。メッセーシの若干の修正について知念副主席 企画局長大島君と話し合い了解を得た

十一時 散髪、内へ帰って晝食 再び政フに戻り、五時頃から公舎へ帰ってメッセーシ熟読の時間にする。正子さん来訪 しばらく四方八方の話しをして激励してもらった 順子ちゃんも来て居たが早目に帰る 大島君メッセーシ持参 また一回読む 長いから相当つかれる

五月廿七日(火) 雨

午前中は公舎でメッセーシの勉強。
メッセーシ原稿も立派に出来た 一
時 出庁 二時 立法院本会ギ登院。

朝来 大雨 午前中内でメッセー
シ味読、一時 登庁、昨夜はよく休め
た。大雨の日の后二時から登院 施政
方針 初回の演舌、原稿がよく出来て
いたので落ついて堂々たるメッセー
シが送れたと思う。初回としては上出
来ではなかったかと思う

副主席はじめ二、三の局長方の評も
よかった、マスコミの評判もよいとの
事

精薄児育成園のホール落成式に出
席、四時半に帰って記者会見

一応内に帰り また琉銀ホールに
おけるレセプションに出かける

野党の連長「ママ」は議長と副議長
だけ 与党も七名位の出席だった

こんなのはどうも形式的の「ママ」
ものだ

帰りは松川の内に寄る。

昭洋君の誕生日だったが祝ってや
れずにすまなかった 十一時頃帰る

五月廿八日(水) 雨

メッセーシの批評は交々。まあ、
及第点はあるだろう 議論の流れは
自分で構想した事がせてもの特徴
と云えよう

晝は朝日新聞の諸記者の皆さん七
名と晝食インタービュー、懇談で私の
考えをいろ／＼聞かれた

四時半 記者会見 五時半から淵
上先生夕食会、福祉関係の方々と。政
府は山川局長、平安君 宮城局長 大
島君と主席

七時から宮古の平良重信市長の御
礼夕食会に出席、於 東急ホテル。
九時頃まで祝って帰る。

那ハ南税務署と北税務署を視察激
励する。

五月廿九日(木) 雨

午前中のメッセーシの勉強会 読
谷波平の生活改善婦人方来訪 しば
らく話す

二時からカーペンター会談 その
前に昨夜与儀十字路でデモ中の学生
の投石に傷を受けている警官が仲地
病院に警官を見舞う

カーペンターとの会談 全軍労の
スト権確立の件についての話し合い。
団交前のスト権確立につむじを曲げ
メンツにかけて団交を拒否している。
それを取り為す為。駄目だった 上原
君と会ってカーペンターの意志を伝
えよう その他ナハ市の五〇〇万弗
の利子軽減について、ナハ航空隊解雇
者の件、放射能調査の時の記者の意見
等 約一時間半位話す

帰って記者会見 宮古 平良市長
来訪 NHK インタービュー RB
C インタービュー 読売新聞 西日
本新聞の記者、星発言についてインタ
ービュー。金城和信さん、岸本さんの
叙勲祝賀会に出席、祝辞 夜はメッセ
ーシの勉強をする 夕食は家内と二

人

五月廿日(金) 雨

九時半 上原全軍労委員長 会談
 十時 日教組 高木、岡村氏来訪 十時半 天然ガス説明 引続き 現場視察、一時に藤山日糖社長会談 一、四〇本土派遣医師(西表) 表敬 二時 タイムス屋宜君インタビュ 三時 アルゼンチン大城氏 来訪 三時半 離島振興会代表 来訪 四時半 記者会見
 六時 カーペンター民政官宅レセプション、労働局長 厚生教育部長□送別の為

五月廿一日(土)

農林局 勉強会、平良重信氏 晝食会 午後二時 上原水産船の祝賀会 午後 建設局との勉強会 五時 河本郵政大臣出迎え 六時半 大臣主催レセプション 八時 NHK、OHK 共済「共催」歓迎会 ナハ。松川自宅に行つて泊る 一彦を訪ねる

六月一日(日) 晴

十時に公舎に帰る
 十二時 主席主催 大臣中食会「晝食会」 二時から電々公社十周年式典 引続きレセプション 七時から左馬で新里総才「総裁」主催歓迎会あり、

六月二日(月) 曇後雨

八時十分 郵政大臣表敬、企画局勉強会、十時 オズボン代理大使表敬 三十分懇談 記者会見 引続き企画

局と勉強会 引き続き文教局との勉強会 十二時五十分 河本大臣見送り。教育会館訪問 晝食 一時半 文教局 勉強会 ■農普及員 陳情 一時四〇分次に通産局との勉強会 労働局長 全軍労ストの件で懇談、日本電気 小林社長来訪、七時から励す会の定例会議あり、励す会は大雨だったが十数名集つて居られた、ありがたい 十時まで懇談 私から政府での仕事の近況について話した 大雨の中を皆帰られた

六月三日(火) 晴

九時から十時半まで厚生局と勉強会、皆保険は未だ問題は残る 十一時 四十分から宮里栄一氏とカーペンター会談 全軍労の問題、大した進展見られず。しかし上原氏等十時からゼイコプソン「ママ」、労働局長 三者話し合いをしているとの事

十二時から高等ベンム官の晝食会 オズボン代理大使の歓迎晝食会に招待、一時間半位話し御馳走になり帰る カーペンターとはボンド制の話しました、これも希望なしではない 記者会見

午後 各局との勉強会あり。
 夕方 日本電気レセプションに出席

六月四日(水) 晴

午前中は公社で総ム局と勉強会 ひき続き主税局と勉強会あり。
 午後 労働局と勉強会 最後に警察と勉強会。以上、終り

二時から五時まで与党との連絡会
むつかしい注文が沢山出た これを
どう答えていくかが問題だ。一か八か
運だめしか

夕方、一彦が来た、八時からノート
整理 十二時過ぎて休む

六月五日(木) 晴

全軍労ストに突入 最悪の事態が
やってきた 副次物の事がエスカレ
ートすると思ったがあちこちで起っ
ている、城間ゲート前 軍司令部近く、
あるいは嘉手納で武装軍隊に安里委
員長はじめ六、七名の組合員が剣でか
すり傷を受けている 予想より大き
い事件が起きた この身にもまた大
きく降りかかってきた一大試練であ
る、十時から小中学校長校長会出席
あいさつ

藤田氏から電話 一応政フに行っ
て副主席 警察局長、労働局長と情報
交換 知花、崎浜、古堅議員来室 報
告を聞く、軍の徴発「挑発」行為は許
せない

記者会見し二時半からカーペンタ
ーに会い話し合う、こちらの見解をの
べた。帰って再び記者会見

私への質問は日付がのびたとの事
安心す、心の準備が不十分だったので
明日の質問には不安があった 内へ
帰って十二時まで学習、整理す、全軍
労ストもかすりきずではあるが安里
委員長はじめ七名の者にけがを銃剣
でさせた沖縄の人を馬鹿にした仕打
ちとしか思えない 残念である 一
応それ以上の事がなく平おんに終っ

て安心す、労働局長 亀甲君からも連
絡があった。

六月六日(金) 曇

昨夜来大雨、六時起床、愛知外相の
国際記者クラブでの会見内容を見聞
した、予想した通りの内容である し
かし沖縄問題は解決の方向に大きく
動いた 十一月にはめどがつく事は
明らかになった 大島君 知念 仲
村氏と話し合い所見をまとめ発表し
た 安里さん来訪 御苦勞をかけた。
金井キクさん来訪さる。中小企業役員
来訪
勝間田さん 川崎さん 来訪 県
迎える 夕食会、八汐荘 引続「き」
宮古校長会に顔を出す

六月七日(土) 晴

九時から民政官会見、全軍労ストの
収拾について話し合う 十一時から
公舎で全軍労 上原委員長 友寄書
記長と会見
石川県知事来訪、表敬あいさつ、来
訪、記者会見、記者諸君との晝食懇談
会。

教職員会婦人部大会 あいさつ。引
き続き小中学校長大会閉会レセプシ
ョン 出席

リーダー、ダイゼスト「ママ」編集
局長とのインタビュー。帰宅 松川
に行って夕食 十時頃帰る 松川に
は正子ちゃん 幸坊 一彦等も一緒
松川は留守番が居なくなり困ってい
る 帰って十二時まで勉強

六月八日(日) 雨

七時から各局資料に取組む

途中 上江洲トシさん母子、来訪

午後は正子さん来訪、しばらく話した後はずっと勉強。各局の資料に全部目を通す。でもでも課題は余りにも多く大きくむつかしく、只只微力をかこつのみ。願わくは 神よ 天よ 私に力をかし給えと己を空しくして祈るのみである。

六月九日(月) 雨

午前中 藤田氏電話あり

全軍労の友寄君外二名に会う 三時から民政官に会う、記者会見、十時鳥居南極探けん隊長、寫眞いただく喜屋武会長外復帰協代表

六時半 金井キクさん、国際歌舞団表敬のため夫婦で出席

民政フから補正予算、否認

本年度予算案にも異議の書信あり。残念、

六月十日(火) 晴

終日 内で勉強、三村 平田さん

開店祝いに出席

熊本日々新聞 兵庫県総評議長 高德氏、神奈川第一銀行総ム部長来訪 公舎

六月十一日(水) 晴

警察局長より昨日のデモについて 報告 副主席と懇談、知的に大きい力だ 有がたい。后後「午后」は内で勉強する

仲村局長 知念副主席 来訪、報告

話し合いをする。

六月十二日(木) 朝、雨後晴

平田さん 来訪さる

午後は内で勉強、午后 平良幸市さん 瀬長さん来訪 打ちあわせをする 六時頃 記者に会う 何も云う事なし、六時過ぎ 総評の単産委員長のレセプションが八汐荘であつて出席、七時から各局長との夕食会あり 十時頃ひき上げて入浴 電気マッサ―ジして休む

六月十三日(金) 雨

幸にして昨夜はよく休めた 有がたい やはり私は守られている 自分のすべてを県民の為に捨ててたん／＼たる気持で今日の質問を受けよう。矢でも鉄砲でも来いという所、？

十時から大田議員を皮切に質問を受ける しつこく喰い下って来た

何とか切り抜けることは出来た

午後は二時半から、桑江議員からしゅん烈の追及を受ける、午前より正直の所 手強かった、外の事は何とか切り抜け得たが やはり経済的の「ママ」勉強が全く足りない これからの勉強は財政、経済面の勉強に猛烈に取りかかる事、これが私に課せられた重大な第一義的課題である

第一日は終る 与党の質問者と打合せ、記者とティータイムをもち、早目に帰って休む 和子さん来訪、首尾は中の下位の所で及第点ではないと思う。勉強不足で而も問題がむつかしい

六月十四日(土) 晴

十時から、二時間 瀬長さんの質問で殆ど演舌で終った。答ベンは樂であつたが。比嘉良篤氏 来県、家内 迎えに行く。

一時半から岸本、平良、吉田さんの質問あり。今日は私を守る立場の演舌が中心で質問はわずかであつた。したがって樂であつた。

瀬長さん、岸本さんの話は余りにも野党や本土政フを攻撃的で心苦しい思いをした。平良幸市さんが終りに立つて経済、金融政策 余す所なくのべる事が出来てよかった

殊に最後の点は二人共熱のは入つた「ママ」心情の応答となり大変よかったと思う。一応これで私への質問は終つて開放された

終つて応接間で副主席 各局長 乾杯し一応の首尾を喜び 私は引き続き尚志会の大学の先生方の歓迎会にのぞんだ 楽しかった

夜は内に帰つて久々の開放気分にあつた。これは就任以来はじめての事である。鼻歌を歌つたりして家内も久々とゆつたりしたとの事であつた。

六月十五日(日) 晴

ゆつくり起き 今日は何もしないでソファアーにかけて休養す。それでも午前、八重山の平良さんから浜シタンの根の置物の御寄贈を受け、吉武進氏の来訪を受け、午後は三時頃から松川へ。

庭の水をかけ、その後は一彦と遊び

休み 夕方は父の日の夕食会を和子さん 朝樹一家と共にする 昭ちゃん一家も来訪 久し振りに和やかに話し合い十一時半頃帰る。今日も就任後はじめて解放された一日だった。正子さん夕方、東京からの御茶の御土産を持参して公舎を御訪ねになつたとの事、松川に電話あり、失礼した。

六月十六日(月) 晴

アメリカ新領事キヤンベル氏、外キヤンベル女史 表敬

十時から民政官会見、ニクソンから返礼。十六日の大会の件 全軍労の問題、原潜の入港時前通告の件、供与米の件等記者会見、全軍労三役との面談 二時から原水協役員要請 エッソの総務部長からの表敬、三時 静岡県教育次長外経済課長等 表敬。ナハ教委要請

文教図書 新島さん訪問

六月十七日(火) 小雨

九時、官公労役員 酒類税制について、九時半 岸所長面談、医師会長来訪、保険庁長との話し合い 晝食 比嘉良篤氏と。

八汐荘、二時から しづたまの碑除幕式参列

四時 新里清篤氏 来訪。テイタイム。砂川局長や糸洲局長と懇談 酒税について。

〔中略〕

六月十九日(木) 雨

九時に東海丸出帆見送る

局長会あり、九州知事会議会の件が文化協会の件で問題多し

和子さんの車が盗まれようとしていた事、警察の知らせでわかり心配す、晝食の時 家内と二人見に行く、物騒の世の中である。あれもこれもみな主席の責任を感じる。まさに一喜一憂とはこの事、また内憂外患とも云えようか。

今日もまた記者会見でベトナム引揚兵の沖縄移駐の事、警察の装備の件で追及され大いに困惑する。九州知事会の出張も困りも「の」結局何もしない方が楽である

五時から革新共闘会議の帰任報告会があつた、革新市政の調査研究の結果である

七時から比嘉良篤氏の招待レセプションあり、女も男も皆反対の立場の人々ばかりである 私と平良良松氏、知念さん位のもの 後は男も女も皆反対者ばかりである、したがって気分も何だかとけ込めない

六月廿日(金) 雨

長崎県物産展、山形屋テープカットあり、末次氏来訪、ベトナム引揚兵沖縄移駐反対の件でコザの業者から抗議あり、副主席に会つてもらう

慰霊祭の祭文 手を入れる

千葉北米課長 来訪、愛知訪米報告があつた、記者会見

局長会議。復帰研解散レセプション。

六月廿一日(土) 曇

ビール消費税 遂に決裁す。両方に云い分がありその中庸をとる。オリオンビールに対しても大変つらい。だからと云って消費者や革新団体に対しても申し訳が立たない 板ばさみとなる。両方に我まんしてもらう外はない。

城北の学校問題も大挙陳情あり

末次氏来訪あり。

夕方 一応内に帰り 家内と共に松川訪問 皆と会つて帰る、ランに水をやる。泊つてゆつくりしたかったが明日の朝 来客があるので十一時頃帰る

六月廿二日(日) 雨

朝九時から十一時 外務省 千葉

北米課長、知念副主と迎え重要な事について懇談する話の内容は別にNOTE 十二時 船田先生 外御一行を迎えに行く、十三時↓十四時南連主催晝食会

散髪 内では革新共斗会議の方々革新市町村長報告会あり、一寸あいさつ五時に鯨岡副長官来県 迎えに行く、一応政府フに寄り副長官のレセプションに出席す。

六月廿三日(月) 雨

昨夜は今日のことがあるのでアンマをとらし早くねる 今日のア摩はお粗末であつた。よく休めて今日は八時半 青年会議所大会開会式にあいさつ、出席す 一応内に帰り再び政府へ 南援から風疹児対策資金の贈

呈を末次さんから受ける。一時 姫百合慰霊祭に出席する。しかし今日は雨降り通しである。神よ 願わくば晴間を晝中与え給えと祈る。三時 船田先生お供して式場へ。誠に不思議今日の天気は運試しと思つて居たが奇蹟が起つた。二時頃から雨は晴れ上つた。弱い陽射しさえ見えはじめた、四時開式。雨は降らなく、少しぬかつて居たがかくて晴れ上つた中で完全に慰霊祭をもつ事が出来た、よかつた私は幸先良しと思つてゐる。しばらくの晴間を与え給えの祈りは的中遂に晴間が「ママ」恵まれた

一応ホテルに先生方を送り、松川に行つてヨシの霊前で読経し、心でわびし、公舎に帰り着がえてホテルの歓迎夕食会へ、楽しい談笑の中で終り後で鯨岡副長官と懇談して帰る。これで大きい政フ行事は終る

姫百合塔でもヨシの霊にひたすらあやまつて居た

六月廿四日(火)雨

一応政府へ行つて、それから衆参両院来賓一行を案内して民政府へ、カーペンターに表敬、その時に私が九州知事会へ出席を話しておく。彼はハワイへ行くとの事であつた

十時過ぎに政府に案内「内」表敬を受け、両院代表より手土産をいただくそれから知念さんに案内を頼み私は記者会見をして内へ帰り支度をしてヒ行場へ

副主席以下二、三の局長が見えた定刻とび立ち一時間半に板付つく、今

度の日程づくりの不用意不手際に激怒す、

総ム局長も一人合点のきらいがある。準備文書にしてもなつて居らぬ。

そう云えば追悼式の式辞の位置と献花の時は私が甚だ不注意でうかつであつた。要反省。板付にはやはり記者諸君が待ちうけていた。所長の案内で貴賓室で休み、スケジュールを変更させ後藤先生宅へ電話連絡をとる。御夫人の声。昔の通りでなつかしい。汽車の時間三時四五分出発。しばらくぶりにガソリンカーに乗る。朝日の記者二人。車の中に追つかけて来て話す。続いて毎日の方、部長と松井記者またおしかけて来る、話しかれる恐れあり。六時八分着く、後藤先生夫妻の姿見える。報道人が一ぱいフラッシュをあびる。久し振りに私夫妻。先生夫妻と手を握り合う。

駅前のホテル松蔵へ。市役所の市長秘書の方の案内。一人は沖繩に見えた方。ホテルのロビーでしばらく話し記者会見。

それから室屋に行つて久し振りの両夫婦話し合い。昔に戻つた感じ、御兩人かわつて居られなかつた。

夕食を一緒し又しばらく話す

先生が胃潰ようで御入院との事知らなかつた。酒を持参して拙かつた。でも御元氣相「ママ」である。台南二中時代の教え子小■マス君来訪失礼の話だがはっきり記憶に残つて

居らない。その次に毎日の記者二人見える。一時間位インタビュー。二人共沖縄駐在した方、それが終って玉城校長夫妻来訪、戦災校舎運動の時に御目にかかった活動家。夫人は一高女時代教えた照屋さん。忙しい日程を終って入浴しねる。

六月廿三日(水)雨

朝は少し起きにくかった。大雨である。沖縄から雨に追われてきた様なものだ。

八時四〇分 後藤奥様見える。市長秘書も見える。家内は後藤さんと一緒に、私は市長秘書の案内で佐世保軍港の基「地」の周辺を見せてもらう。沖縄の基地からすると全く外観基地の感じはしない。佐世保川をへだてて民間とは川でさえぎられた基地で殆どヘイ害も及ばないだろう。いよ／＼本土並基地の内容が問題という事になろう。放射能測定施設も見た、みな国が施設したとの事、五〇〇万円の損害保障の見舞金も国は出したそうだ。市長表敬、議長 助役はじめ一同応接間で御目にかかる。雨の中を皆さん見送って下さる。後藤先生御夫妻も見送って下さる。雨は降り続く、博多駅内ホテルで日本テレビインタービュー、一時間以上だった。三時半頃電車で出発、五時十分頃熊本つく。県知事直接迎えて下さる。県人も一ぱい出て居られた様に思ったが今日はごあいさつも出来ないままに知事さんの案内で車に乗り、ホテルに向う。ホテルカスルに宿泊する。六時から県人

会の歓迎会に出席。豪華な会合だった。中村会長がこの会開催までの苦労話があった。私等が悪かった。私もあやまった。中村昌信氏のあいさつ。その後に新崎夫人のあいさつ、その後私のあいさつ、よいあいさつだったと思う。皆さんの御好意に感謝して終る。

一応宿へ帰って又中村さん。中村会長。福地君。末峰君等に案内して二次会、一時間位して帰る。楽しかった。

六月廿六日(木)晴

十時 寺本知事訪問。表敬。庁舎のすばらしい事、そこで私のあいさつの件打ち合わせ。

続いて市長訪問、市長病氣。助役に会う。十一時↓十二時。日々新聞社長との対談、晝食を終り一応宿へ。

一時十五分 出発。知事会へ。家内は知事夫人と阿蘇へ。知事会は私はぬきにして私の取扱い要請書の取扱いの話し合い、結果は私のあいさつを受ける事になった。会議が始る。各県から提出事項を協議。その中に沖縄に係するものを沖縄を含めてもらう事にし。あわせて私の要請書を知事会で取りあげてほしいと発言、それに対し私の要請を理解したとの結論、仕方なし、万博、文化協の協議了解し会議は終る。記者会見、会長と私。終って寺本知事の招宴、家内も参加す。中村局長以下は別室で。大した収かくもなく知事会終る。